

「園芸導入事例」、「支援事業」、「研修案内」など紹介します

わたしも作ったよ!

—いちじく編—

○阿賀野市いちじくブランドの確立に向けて

7月18日に生産者の圃場において、いちじく栽培研修会が開催され、普及指導センターから熟期促進技術の実演をしていただきました。これからの出荷に向けて参加者は関心を寄せて見学していました。

昨年から両JAの出荷規格を統一し、合同で出荷をしてきましたが、更なる「いちじく」の生産拡大と品質向上によるブランド産地化を目指して、今年も阿賀野市の生産者が一丸となって出荷に取り組んでいます。



阿賀野市イメージキャラクター「ごずっちょ」

○コンテナ栽培年間スケジュール

(品種：榊井ドーフィン 水稲育苗ハウス利用)

作業時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目			←→ 挿し木		←→	←→	←→	←→	←	←→	←→	←→
2年目以降	←→	←→	←→		←→	←→	←→	←	←→	←→	←→	←→
	剪定	コンテナ搬出			コンテナ搬入	新梢誘引				収穫		

○栽培の特徴

- ・1年目からの収穫も可能ですが、初年度は樹を育てることに注力しましょう。
- ・植え付け2年目から収穫できるため、開園経費を早く回収できます。
- ・継続して5年以上栽培することができます。
- ・高度な技術や高所作業が少ないため、女性、高齢者、初心者でも取り組みやすいです。

◇阿賀野市地域振興作物組み合わせ例紹介◇

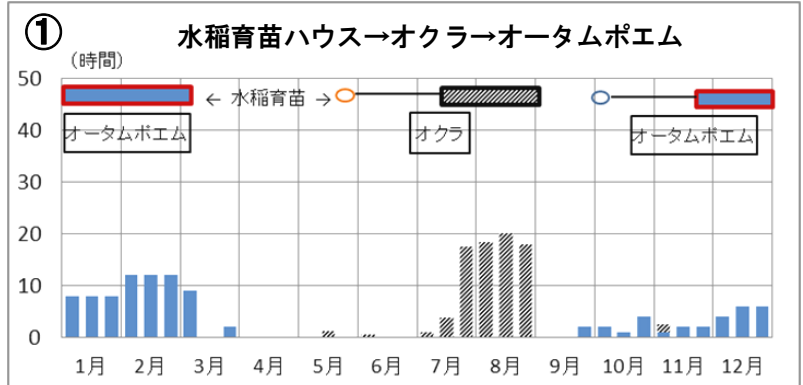
パターン① 育苗ハウス利用

◆オクラ

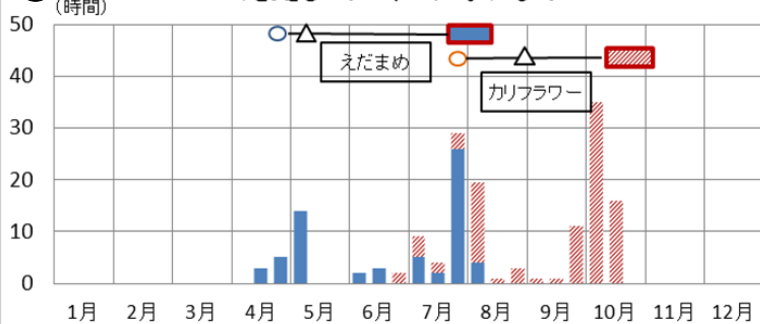
- ・軽量野菜であるため、女性、高齢者でも栽培が可能です。但し、出荷調整に手間がかかります。
- ・病害虫の発生は比較的少なく、管理も難しくないので入門向けです。

◆オータムポエム

- ・収穫のピークは12～2月で冬期間の育苗ハウスの有効利用ができます。
- ・暖房無しで栽培が可能、所得率が高い品目です。



② えだまめ → カリフラワー



パターン② 水田利用

◆えだまめ

- ・稲刈り前に収穫・出荷ができ、作業の重複が少ないです。
- ・「早生」～「晩生」など品種が豊富で作期・作型が試みやすいです。

◆カリフラワー

- ・高温期の栽培となるので、かん水とこまめな害虫防除が必要ですが、比較的安定した品目です。

◇園芸関連支援事業紹介◇



◆水稲育苗ハウス等利活用促進事業

- ・事業概要：水稲育苗ハウスの空き期間を利用し、**新たに**野菜等の栽培に取り組む農家を支援する。
- ・対象品目：各種園芸品目（野菜、果樹、花卉等）
- ・補助対象：栽培に係る種苗費や肥料費等生産資材の1/2以内を支援する。（上限100,000円）
- ・要件：栽培面積2 a以上、出荷販売
- ・注意事項：活用にあたり初年度及び次年度の計2年間、栽培の実績報告を義務付けています。

◆園芸産地化支援事業

- ・事業概要：カリフラワーの産地化を目指すため、栽培農家等に対し、種苗費等の経費を支援する。
- ・対象品目：カリフラワー
- ・補助対象：カリフラワーの栽培に係る種苗費や肥料費等の生産資材、及びダンボール等の出荷資材費の1/2以内を支援する。（栽培面積1 a当たり2,500円の支援、上限額25,000円）
- ・要件：JA南部予冷センターに出荷

★JA・農林課・普及センターでは、様々な品目の栽培指導や支援を行うなど、園芸生産をサポートしています。ご興味がある方は下記までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】	○JA北蒲みなみ 営農センター（樋口・五十嵐）	TEL 62-2235
	○JAささかみ 本所営農課（石山・早川）	TEL 25-7252
	○新発田農業普及指導センター（野菜）	TEL 0254-26-9156
	〃（花・果樹）	TEL 0254-26-9155
	○阿賀野市農林課農林振興係（直通）	TEL 0250-61-2478